

MONOLITHIC ZIRCONIA



8 unit Bridge with Gum tissue  
3BAKE+1GLAZE

※実際に制作するブリッジは異なります。後ほどアップデートします。

Amorphous presents

**LUKE HASEGAWA**

**Hands-on course**

**OSAKA JAPAN**

**SEPTEMBER**

**21,22,23,2026**

**ルーク長谷川 先生**

- 1995 新潟大学歯学部附属歯科技工士学校卒業
- 1997 東京医科歯科大学歯科技工士学校（実習科）終了
- 1998 渡カナダ プロダクションラボ、プロソ院内ラボ勤務
- 2006 渡アメリカ プロソ院内ラボ勤務
- 2009 ウィリーゲラー氏による オーラルデザイングループに選抜
- 2019 Luke Hasegawa oraldesign LLC 設立 ARKANSAS USA
- 2026 現在に至る





# 全米の歯科業界を震撼させたルーク長谷川氏による 日本で13年ぶりとなる待望の凱旋ハンズオン！！

本実習は、ジルコニアを用いたボーンアンカードブリッジの製作に焦点を当てた内容となります。かつて不透明で扱いづらいとされていたジルコニアは、近年、強度および審美性の両面で著しい進化を遂げています。その結果、破折やチッピングのリスクを伴うレイヤリングを行わなくても、ボーンアンカー型ブリッジにおいては、モノリシック修復で十分な結果を得られるケースがほとんどとなりました。

一方で、モノリシック修復物においては、既製色のペーストタイプステインを安易に使用することでキャラクター表現が乏しくなったり、最終的なサーフェステクスチャーの仕上げが不十分になったりするケースが、臨床の現場では少なくありません。

本実習のメインテーマは、モノリシックを基本としたボーンアンカードブリッジにおいて、「いかに自然観を再現するか」という点にあります。シンタリング前のジルコニアで行うフィニッシングの考え方をはじめ、適切なコントラストやキャラクターの付与方法、さらに最終補綴物におけるサーフェステクスチャーの残し方まで、実践的な視点から解説していきます。

また、カラーマッチングの精度を高めるための手法として、私が日常臨床で7年前から採用しているeLAB、そして約半年前から使用しているMattise/オプティシェードによるデジタルシェードマッチングを、工程確認の一例として簡潔にご紹介する予定です。

私の日常臨床では、前歯部を中心としたカラーマッチングを要する補綴が大半を占めており、多くのケースでeLABおよびMattiseシステムを使用しています。実際には0.6~1.0mm程度のフェイシャルレイヤリングを行うこともありますが、レイヤリングの有無やスペースの違いに関わらず、歯冠部の色調再現における基本的な考え方やコンセプトは共通しています。

本実習で習得していただく技法やステップ、ならびにマテリアルに対する理解と知識は、参加者の皆様それぞれ異なる臨床環境や条件の中においても、幅広い場面で確実に活かしていただけるものと確信しています。

本コースは、13年ぶりとなる日本での開催です。皆様とこの貴重な時間を共有できることを、心より楽しみにしております。

ルーク長谷川

LukeHasegawa oraldesign.LLC





## DAY 1 シンタリング前のフレームワークの下準備

- eLAB&OptiShadeによるマテリアルセレクションと明度確認
- 適切なバーを用いてシンタリング前カービングを最速で終わらせるための考え方と手法

## DAY 2 築盛&ステイン/材料の基礎知識

- eLAB&OptiShadeのデータに基づいた陶材明度のコントロール
- オパールポーセレンに潜む「焼き切れない白いドット」のコントロール方法
- ペーストステインとパウダーステインの材料特性と使い分け（マジックカラーの優位性）
- ボーンアンカードブリッジにおける適切な焼成温度の考え方
- ボーンアンカードブリッジにおけるモノリシックの優位性

## DAY 3 形態修正

- 歯冠部を最速で仕上げるための表面性状付与の考え方
- ガムポーセレンの表面性状付与と適切なグレース温度
- 顔貌に合わせて自然に配列するための基礎知識
- サーフェステクスチャー（ラスター）のコントロール



# 2026/9/21.22.23(祝日)

(月)16:00~19:00 (火)7:45~18:30 (水)7:30~16:00

※21日夜と22日夜に懇親会を予定しております

## 定員数

# 15名

定員になり次第締め切らせて頂きます

## 受講費

# 200,000円

Hands-on courseは上記金額に材料費、昼食代、消費税が含まれています

月曜夜と火曜夜に懇親会を予定しております（実費）

決済後のキャンセルは各種手数料を引いた額を返金いたしますのでご了承ください

## 持参物

使い慣れたインスルメントや築盛道具、ガラスパレット  
各種バー（ハンドピース用も含む）

ノートパソコン（MacBook）

ジルコニアフレーム・模型・陶材はこちらでご用意します

## 会場・お問合せ

### Amorphous事務局

大阪府大阪市中央区本町2-3-4 アソルティ本町7階 LAZARUS内

※お問い合わせは下記LINEにてお願いいたします

## 申込方法



セミナー専用公式LINEにご登録ください

LINEにて参加申し込みフォーム・お支払い方法を送信します

公式LINE登録は左のQRコード読み取り（ID：@816pjrdi）

supported by



# バカ社長の独り言

Monologue of BAKASHACHO

おとこ

男子は誰でも一生のうち一回は「地上最強」つてのを夢見る

-範馬刃牙-

筆者はかつて「世界一のセラミスト」を目指していた。若い頃の話である。

やがて“越えられない壁”をいくつも経験し、目標を切り替え、方向転換し、現在に至る。無論、そこに対してはひとかけらの後悔も未練もない。しかし、「世界一のセラミストへの憧れとリスクの炎」は、未だ筆者の心から消えることはなく、むしろ一段と燃え上がっているのである。

筆者が世界最強を夢見ていた頃、まさに目指していた存在がルーク長谷川氏であった。

ルーク氏が手がけられるその作品に魅せられ、憧れ、専門誌を穴が開くほど見て研究した。「同じように作ったら同じようにできる」。そんなふうに考えてた時期が俺にもありました。

しかし、何度同じように作ろうとしても、どうしても再現することができなかった。手品で手のひらからコインがなぜ消えるのかがわからないのと同じく、どうしても当時の筆者には、その「カラクリ」が理解できなかったのである。どれほど直に会いに行き、その手技を学びたいと思ったであろうか。しかし若き日の筆者には、そのツテも金銭もなかった。

今回、そのルーク長谷川氏のハンズオンセミナーが、実に13年ぶりに日本で開催される。かつての筆者がどうしても解明することのできなかった「カラクリ」が、まさしく目の前で紐解かれるのである。

本セミナーでは、4±4のジルコニア上部構造のシンタリング前カービング・ステイン～シンタリング後のステイン・築盛・完成までを一気に進める。主催者である筆者としても、非常に緊張感のあるスケジュールであるが、そんなことをかき消すくらい、楽しみである。

是非ともこの機会にご参加いただき、明日からの臨床に役立てていただきたい。

筆者もまた、心の中で、かつて夢見ていた若き日の自分に会いに行き、20年越しのカラクリの答え合わせをしたいと思う。

どんどん参加していただいても、わたしは一向にかまわんツツ

LAZARUS / Amorphous 村田彰弘(A)